

長井坂城

300城巡Gr08-13

F51

長尾氏の居城・白井城の支城。利根川の断崖に建つ崖端城で、北条氏による真田領沼田攻略の拠点となった。小田原城の落城にともない廃城。

築城種類	山城	築城者	上杉謙信か
築城年	永禄年間(1558~70)	廃城年	天正18年(1590)
天守	無	見学	無料
遺構	曲輪、土塁、堀切、堀		
住所	群馬県渋川市赤城町・利根郡昭和村		
アクセス	JR岩本駅からタクシー		

長井坂城は次(F52)に紹介しますY218-白井城(崖端城)の支城でここも典型的な崖端城です。

各郭間の空堀は意外と深いものではなく白井城への時間稼ぎの一時的な防戦に使われたと考えられます。



白井城

別名;崖端城

300城巡Gr08-7/13

F52

利根川と吾妻川の合流点に築かれた、白井長尾氏の居城。天然の要害を生かした梯郭式平城で、武田氏による西上野攻略の要と見なされて攻防が繰り返された。

築城種類	平山城	築城者	長尾景仲か
築城年	永享年間(1429~41)	廃城年	寛永元年(1624)
天守	無	見学	無料
遺構	曲輪、石垣、土塁、堀、櫓台など		
住所	群馬県渋川市白井本丸		
アクセス	JR 渋川駅から徒歩またはバス		

本丸・二の丸(一部)以外は田園地帯広がっています。最初北郭から登城したときは三の丸標識しか見えず、途中道を引き返したり右往左往した後やっと本丸に辿り着きました。カーナビよりiPhoneのグーグルマップに感謝です。

白井城の読み方は「しろい」です。本丸は本当に広く周囲を土塁で囲まれ、二の丸との境は深い堀(当時は吾妻川の水が流れていた)に守られていました。

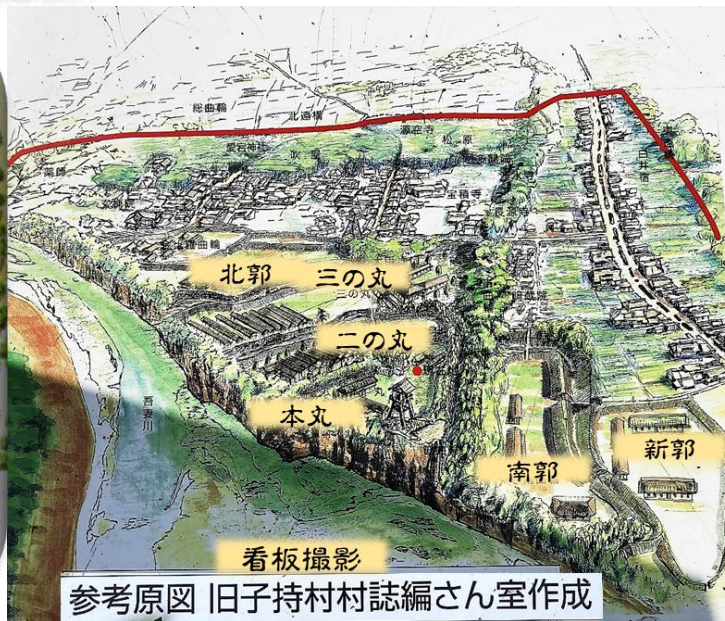


広い本丸跡

My Car



本丸周辺土塁



看板撮影

参考原図 旧子持村村誌編さん室作成



本丸虎口の桁形にある石垣



高崎城

別名;和田城

300城巡Gr08-8/13

前身の和田城は小田原攻めによって落城し、跡地に井伊直政が高崎城を築城。3代将軍・徳川家光の弟・忠長が幽閉されたことでも知られる。乾櫓は県内唯一の現存城郭建築。

築城種類	平城	築城者	井伊直政
築城年	慶長3年(1598)	廃城年	明治4年(1871)
天守	無	見学	無料
遺構	乾櫓、東門、土塁、堀など		
住所	群馬県高崎市高松町		
アクセス	JR 高崎駅から徒歩またはバス		

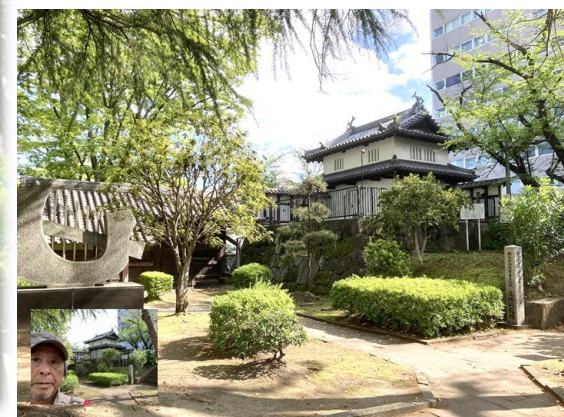
高崎城跡はJR高崎駅から歩10分と近いところにあります。また隣り合わせで高崎音楽センター、その横には高崎市役所などがあります。市の中心部の中でポツンと寂しく佇んでいました。



高崎城乾櫓と東門（長屋門）



外濠と土塁



300城巡Gr08-9/13

F54

大胡城

藤原秀郷の家系といわれる大胡氏の居城。戦国時代には、北条氏一族のものとなったことでも知られる。徳川家康の関東移封後は、徳川家臣の牧野康成が入城した。

築城種類	平山城	築城者	大胡氏
築城年	天文年間(1532~55)	廃城年	元和2年(1616)
天守	無	見学	無料
遺構	曲輪、土塁、堀、枡形門跡など		

「大胡」という地名は上野三碑(日本三碑...那須国造碑(栃木県)・日本名城No.7多賀城碑(宮城県))の一つ、多胡(たご)碑を連想させるみたいで、どちらも読み方によって「おおご」、あるいは「たご」と読めるからだそうです。

両者とも「胡(えびす)が多い」という意味で胡とは大陸からの渡来人を指しており、事実、多胡碑のある高崎市吉井町は古代は渡来人が多かったが、この大胡の地も同様であろうということです。



想像図

城跡内看板撮影



本丸跡